



## 文章問題

名前

【1】 次の問題に答えなさい。

- ① 文房具屋さんで、1セット24枚入りの折り紙セットを7セット買いました。折り紙は、全部で何枚ありますか。

式	$24 \times 7 = 168$	答え	168 枚
---	---------------------	----	-------

1セット24枚入りの折り紙セットを7セット買ったから、全部の折り紙の枚数は掛け算で求められる。

$$\underline{24(\text{枚}) \times 7(\text{セット}) = 168(\text{枚})}$$

- ② 肉屋さんで買い物をしました。100gで150円の牛肉を300gと、100gで80円の豚肉を500g買いました。全部でいくらですか。

式	$150 \times 3 + 80 \times 5 = 850$	答え	850 円
---	------------------------------------	----	-------

(牛肉の値段)

100gで150円だから300gを買う場合、100gの金額の3倍になる。したがって、「牛肉の値段だけの計算式」は、

$$\underline{150(\text{円}) \times 3(\text{倍}) = 450(\text{円})} \quad \dots(1)$$

(豚肉の値段)

100gで80円だから500gを買う場合、100gの金額の5倍になる。  
したがって、「豚肉の値段だけの計算式」は、

$$\underline{80(\text{円}) \times 5(\text{倍}) = 400(\text{円}) \quad \cdots (2)}$$

(牛肉の値段)と(豚肉の値段)の合計金額は、「(1)+(2)」となります。

ゆえに、求める式は

$$\underline{150(\text{円}) \times 3(\text{倍}) + 80(\text{円}) \times 5(\text{倍}) = 850(\text{円}) \quad \cdots (1)+(2)}$$

- ③ 39人クラス全員で、4人乗りのボートに乗ることになりました。  
ボートは何艘必要でしょうか。

答え	10 艘
----	------

ボートが何艘必要となるかの計算式は、「39÷4=9余り3」となります。

この答えは、「ボートが9艘必要で、3人余ってしまう(この3人はボートに乗れない)」ことを意味しています。

ボートは4人乗りボートですが、残りの3人もボートに乗せるためには、もう1艘ボートを用意する必要があります。(残りの3人で、もう1艘のボートに乗ります)

したがって、全部で10艘のボートが必要となります。

- ④ 洋菓子店で1個120円のシュークリームを4個と、1個180円のプリンを2個買いました。1000円で支払うとおつりはいくらですか。

式	$1000 - (120 \times 4 + 180 \times 2) = 160$	答え	160 円
---	--	----	-------

(シュークリームの値段)

1個で120円だから4個買う場合、1個の金額の4倍になる。

したがって、「シュークリームの値段だけの計算式」は、

$$\underline{120(\text{円}) \times 4(\text{倍}) = 480(\text{円})} \quad \dots (1)$$

(プリン値段)

1個で180円だから2個買う場合、1個の金額の2倍になる。

したがって、「プリン値段だけの計算式」は、

$$\underline{180(\text{円}) \times 2(\text{倍}) = 360(\text{円})} \quad \dots (2)$$

(シュークリームの値段)と(プリン値段)の合計金額は、「(1)+(2)」となります。

$$\underline{120(\text{円}) \times 4(\text{倍}) + 180(\text{円}) \times 2(\text{倍}) = 840(\text{円})} \quad \dots (1)+(2)$$

ただし、この問題で求める答えは、1000円を支払ったときのおつりの金額ですから、

計算式は、「 $1000 \text{円} - \{(1)+(2)\}$ 」です。

したがって、最終的に求める計算式は、以下のとおりとなります。

$$\underline{1000 \text{円} - \{120(\text{円}) \times 4(\text{倍}) + 180(\text{円}) \times 2(\text{倍})\} = 160(\text{円})}$$

- ⑤ 2ℓ入りのペットボトルのサイダーを、250mlのコップで飲みます。  
何はい飲めるでしょうか。

答え	8はい
----	-----

2ℓのサイダーを250mlのコップで何はい飲むことができるかは、割り算で求めることができます。しかし、計算をする前に単位を合わせる必要があります。

ここでは、mlに単位を合わせます。(※ℓに合わせると、少数の計算になってしまうため)

$$2\ell = 2000\text{ml}$$

(式)  $2000(\text{ml}) \div 250(\text{ml}) = 8(\text{はい})$

- ⑥ Aさんの財布には、3750円入っています。Bさんの財布には、1250円入っています。AさんはBさんの何倍のお金を持っていますか。

式	$3750 \div 1250 = 3$	答え	3倍
---	----------------------	----	----

この問題は、問題文を読んで正しく理解する必要があります。

注意すべき点は、AさんとBさんの持っているお金の差額を聞いていません。「AさんはBさんの何倍のお金を持っているのか」を聞いている点です。

したがって、求める式は、

「(Aさんが持っているお金)÷(Bさんが持っているお金)」となります。

$$3750(\text{円}) \div 1250(\text{円}) = 3(\text{倍})$$

- ⑦ Cさんは校庭を1周するのに55秒かかりました。Dさんは校庭を1周するのに42秒かかりました。校庭を1周するのに、DさんはCさんよりも何秒早かったですでしょうか。

式	$55 - 42 = 13$	答え	13 秒
---	----------------	----	------

CさんとDさんの校庭1周の時間の差は、引き算で求めることができます。

(計算式)  $55(\text{秒}) - 42(\text{秒}) = 13\text{秒}$

「DさんはCさんよりも13秒早かった」

- ⑧ 1500m走で、Eさんの記録は5分38秒でした。また、Fさんの記録は6分53秒でした。EさんはFよりも何分何秒早かったですでしょうか。

答え	1分 15秒
----	--------

EさんとFさんの記録の差は、引き算で求めることができます。

(計算式)  $6\text{分}53\text{秒} - 5\text{分}38\text{秒}$

$$\begin{array}{r}
 6 \text{ 分 } 53 \text{ 秒} \\
 -) \quad 5 \text{ 分 } 38 \text{ 秒} \\
 \hline
 1 \text{ 分 } 15 \text{ 秒}
 \end{array}$$

⑨ 走り幅跳びで、G君の記録は3m92cmでした。また、H君の記録は2m83cmでした。G君はH君よりも何m何cm遠くに跳べたでしょうか。

答え	1 m	9 cm
----	-----	------

G君とH君の記録の差は、引き算で求めることができます。

(計算式)  $3 \text{ m } 92 \text{ cm} - 2 \text{ m } 83 \text{ cm}$

$$\begin{array}{r}
 3 \text{ m } 92 \text{ cm} \\
 -) \quad 2 \text{ m } 83 \text{ cm} \\
 \hline
 1 \text{ m } 09 \text{ cm}
 \end{array}$$

⑩ Iさんは、自宅の最寄りのバス停から7時45分発のバスに乗り8時10分に駅で降りました。Iさんがバスに乗っていた時間は何分間でしたか。

答え	25 分間
----	-------

Iさんが(バスに乗っていた時間)は、(駅でバスを降りた時刻)から(バス停からバスに乗った時刻)を引き算することによって求めることができます。

計算式：

(バスに乗っていた時間)=(駅でバスを降りた時刻)-(バス停からバスに乗った時刻)

$$\begin{array}{r} \text{(駅でバスを降りた時刻)} \quad 8 \text{ 時 } 10 \text{ 分} \\ \text{一) (バス停からバスに乗った時刻)} \quad 7 \text{ 時 } 45 \text{ 分} \\ \hline \underline{\underline{25 \text{ 分間}}} \end{array}$$

- ⑪ J君は、自宅の最寄りのバス停から10時46分発のバスに乗り、駅で降りました。バスには、25分間乗っていました。J君が駅に着いたのは何時何分でしたか。

答え	11 時間	11 分
----	-------	------

J君が(駅に着いた時刻)は、(バス停からバスに乗った時刻)に(バスに乗っていた時間)を足し算することによって求めることができます。

計算式：

(駅に着いた時刻)=  
(バス停からバスに乗った時刻)+(バスに乗っていた時間)

$$\begin{array}{r} \text{(バス停からバスに乗った時刻)} \quad 10 \text{ 時 } 46 \text{ 分} \\ \text{一) (バスに乗っていた時間)} \quad 25 \text{ 分間} \\ \hline \underline{\underline{11 \text{ 時 } 11 \text{ 分}}} \end{array}$$

- ⑫ おまんじゅうを1人に7個ずつ、15人に分けたら、おまんじゅうは4個余りました。最初におまんじゅうは何個ありましたか。

式	$15 \times 7 + 4 = 109$	答え	109 個
---	-------------------------	----	-------

(最初にあったおまんじゅうの数)は、(みんなに分けたおまんじゅうの数)と(余ったおまんじゅうの数)を足し算することによって求めることができます。

計算式：

(最初にあったおまんじゅうの数) =

(みんなに分けたおまんじゅうの数) + (余ったおまんじゅうの数)

$$\underline{15(人) \times 7(個) + 4(個) = 109(個)}$$